

# 学校法人アリス国際学園 令和7年度学校関係者評価委員会報告書

令和8年3月31日  
学校法人アリス国際学園  
専門学校アリス学園  
学校関係者評価委員会

日時：令和8年3月27日 10:00～11:30

場所：専門学校アリス学園 1階101教室

出席者：学校関係者評価委員 4名

(事務局) 竹澤勝志学校長、道上陽介教頭、山田由香学務部長

専門学校アリス学園、専門学校アリス学園加賀校、アリス日本語学校横浜校の各校担当者

<学校関係者評価委員> ※出席者

## 【専門分野における業界関係者】

寺西 由美子※ アリス・スタッフ株式会社 代表取締役社長

澤田 歩 株式会社金沢国際ホテル 総支配人

## 【卒業生代表】

藪内 雅也※ 専門学校アリス学園 同窓会会長

## 【地域住民代表】

山本 喜久夫(委員長)※ 伏見台町会住民

## 【高等学校等の校長】

山下 一夫 石川県私立学校審議会委員・学校法人藤花学園金沢龍谷高等学校長

## 【当該分野における評価の専門家】

中野 朋和※ 医療法人社団仁智会金沢南ケアハウス施設長

一般社団法人石川県介護福祉士会会長

司辻 慶充 株式会社天とてん 代表取締役社長

## 概要

竹澤勝志学校長より令和7年度の自己点検・自己評価の取組みについて説明。また、本委員会が次年度の学校運営向上に繋がるために委員からの忌憚のないご意見をお願いしたい旨の挨拶がなされた。

出席者の紹介の後、事務局より「令和7年度自己点検・自己評価報告書」に基づき、I学校の教育目標、II本年度に定めた重点目標・計画、III評価項目(①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の受入れ募集 ⑧財務 ⑨法令の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献 ⑪留学生の在籍管理・生活支援)について、取組内容、課題、改善策及び特記事項について報告を行った。(評価項目③教育活動と④学修成果については、3校の担当者から各校が設置する学科について報告)

報告後、出席委員との自己評価の妥当性並びに質疑応答と意見交換を行った結果、「自己評価点」に対しては特に問題はなしとのこと。学修成果が出ていることをはじめ、在校生の地域貢献や卒業後の活躍について、各委員より概ね良い評価を頂いた。その一方で、外国人留学生が急増していることを受け、外国人人材に関連する法律や制度への対応をはじめ、学生数の増加に伴う教職員の負担を減らすための組織体制の整備を検討していく必要があるとの意見を頂いた。

評価項目ごとの学校関係者評価委員からの評価・質疑応答・意見交換

項目	評価・質疑・意見交換の内容
1 学校の教育目標	特になし
2 本年度に定めた目標や計画	特になし
3-(1) 教育理念・目標	特になし
3-(2) 学校運営	<p>・地域住民をはじめ、留学生に対するクレームが入ることがあり、学校としてカスハラ対策を講じる必要がある。偏見もあると思うので、何でもお詫びするのも良くない（中野委員）</p> <p>・電話を録音する企業もあるが、一方に対応する職員のストレスになることも配慮しなければならない（寺西委員）</p> <p>（令和 8 年度より、アリス日本語学校横浜校は各種学校として運営がされること、専門学校アリス学園並びに専門学校アリス学園加賀校は専修学校として学校教育法の改正に基づき学則を変更したことを事務局より報告）</p>
3-(3)-1 教育活動 3-(4)-① 学習成果 介護福祉学科 国際ビジネス学科 日本語学科(3校)	<p>・介護福祉士の新たな国家試験パート制度に対応できるよう分析・対策を検討すべきである（寺西委員）</p> <p>・学生であった時には学生が多いことで不便を感じることはなかったが、留学生数が増加していることから、学校としての受入れ対応は大丈夫か。</p> <p>学生数が増えると教員の負担も増えると思われるので、学校として体制を整える必要があるのではないかと（藪内委員・寺西委員）</p> <p>・日本語は試験結果も大事だが、やはり話すことをはじめとするコミュニケーション能力を高めることが大切だと考える。スピーチコンテストでは今やっている教育の成果を感じられた（山本委員）</p>
3-(5) 学生支援	<p>・市内のホテルでもアリス学園の学生が活躍している姿を見かけるようになり、委員としても誇らしい気持ちになったが、今後も就職先の確保については県内外を問わず開拓をしていくべきである（山本委員）</p>
3-(6) 教育環境	特になし
3-(7) 学生の受入れ募集	<p>・介護福祉学科については、日本人の学生募集にも力を入れて頂きたい（藪内委員）</p>
3-(8) 財務	<p>特になし</p> <p>（令和8年度の教職員の待遇改善として休日数の増加及びベースアップが決定していることを事務局より報告）</p>
3-(9) 法令の遵守	特になし
3-(10) 社会貢献・地域貢献	<p>・石川県の能登地域に外国人介護福祉士を輩出したいという希望も聞いており、日本語学科時代に地域の理解が進む機会があると良い（寺西委員）</p>
3-(11) 留学生の在籍管理・生活指導	<p>・交通ルールも厳しくなるため、留学生への指導を徹底して欲しい。各校の自治体や町会での防災訓練なども活用して頂きたい（山本委員）</p>